

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

製品名	ユーゲン 2.5K
会社名	ミッケル化学株式会社
住所	東京都江東区石島2-14
電話番号	03-5633-2520
FAX番号	03-5653-3575
担当部門	研究開発室
緊急連絡電話番号	072-268-1181

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	金属腐食性物質 区分1 引火性液体 分類できない
健康有害性	
急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（全身毒性）
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	
水生環境有害性（急性）	区分1
水生環境有害性（慢性）	区分1

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

金属腐食の恐れ
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（全身毒性）
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】： 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

〔対 応〕： 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚または髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

〔保 管〕： 密閉して保管すること。

〔廃 棄〕： 内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

化学物質・混合物の区別	混合物
成分	次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度 6.0～7.0%、工場出荷時） 水

【4. 応急措置】

吸入した場合	万一、有害な塩素ガスを吸い込んだ場合には、直ちに患者を風通しのよい場所に避難させ、安静にした後、本品または安全データシート（SDS）を持参して速やかに医師の診断を受ける。 手当てが遅れると生命にかかわる。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水で十分に洗い流す。 液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。 速やかに医師の診断を受ける。手当てが遅れると炎症を起こす恐れがある。 液が付着した衣服や靴は、よく洗ってから着用する。
眼に入った場合	そのまま放置すると失明の恐れがあるので、コンタクトレンズは外し、こすらずすぐに流水で15分以上洗い流す。 その後、すぐに本品またはSDSを持参して眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに口をすすがせて多量の水を飲ませる。 意識のない場合には、口から何も与えない。 無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。 濃い液を多量に飲み込んだ場合、手当てが遅れると生命にかかわる。
その他	使用中、眼にしみたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、使用をやめてその場から離れ、洗眼、うがいをする。
医師に対する特別な注意事項	本製品のガスを吸入したものは、安静にさせ、その経過を観察しなければならない。

【5. 火災時の措置】

適切な消火剤	大量の水
--------	------

使ってはならない消火剤

炭酸ガス、酸性の粉末消火剤

特有の危険有害性

（酸との接触により有害な塩素ガスを発生する。）

特有の消火方法

加熱や燃焼により分解し、有毒で腐食性の塩素ガスを生じる。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合は、容器及び周辺に注水して冷却する。

消火作業の際は、ゴム製防護衣、ゴム製保護手袋、ゴーグル型保

護メガネ、ゴム長靴、空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

作業の際には、必ず保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。

屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。

多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項

環境への放出を避ける事。

大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

酸との混合は有害なガスを発生するので行ってはならない

周辺地域の住民に直ちに警告し、危険地域から避難させる。

周辺環境に影響を及ぼす可能性のある場合は、当該機関および当社の緊急連絡先へ通報する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策

取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

局所排気・全体換気

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。

「2. 危険有害性情報」を熟知し、人体との接触を避けること。

可燃物、アセチレン、エチレン、水素、アンモニア、微細金属粉と接触させないこと。

作業中に温度を上昇させないこと。

酸と接触したり、pHが低下すると塩素ガスの発生が起きるので注意が必要である。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

取り扱い後は手をよく洗うこと。

接触、吸入または飲み込まないこと。

眼および皮膚との接触は避けること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件

密栓した容器に保管する。

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

混触危険物質
安全な容器包装材料

他のものと混同しないように保管する。
「10. 安定性及び反応性」を参照。
他の容器に移し替える場合は、当社指定の専用容器を使用する。
(商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)

【8. ばく露防止及び保護措置】

保護具:	
呼吸用保護具	必要に応じてマスクなどを着用
手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	保護衣

【9. 物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	淡黄色透明
臭い	特有な刺激臭
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	10.2±0.5 (1%水溶液、25℃)
動粘性率	データなし
溶解性	水に可溶
オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.07±0.05 (25℃)
相対ガス密度	データなし
粒子性状	該当しない

【10. 安定性及び反応性】

反応性	アルミニウム、すず、亜鉛等の金属を腐食して水素ガスを発生する。
化学的安定性	空気、熱、光、金属などにきわめて不安定である。 放置すると徐々に有効塩素を失う。
危険有害反応可能性	塩素系のため、酸性物質や酸性タイプのアルコール製剤と接触すると有害な塩素ガスが発生する。
避けるべき条件	酸性物質、酸性タイプのアルコール製剤との接触 高温での放置
混触危険物質	アルミニウム、すず、亜鉛、コバルト、ニッケル、銅などの金属及びその塩類との接触
危険有害な分解生成物	塩素ガス

【11. 有害性情報】

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（蒸気）	知見無し
急性毒性（粉塵／ミスト）	知見無し
皮膚腐食性／刺激性	区分 1 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 皮膚を侵し、放置した場合、皮膚の深部に達しやけどとなる。

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 1 重篤な眼の損傷 結膜や角膜が侵され、発赤、痛みを感じ、失明する可能性がある。 (次亜塩素酸ナトリウムの有効塩素濃度は10%以上である)。また、ウサギ
呼吸器感作性	知見なし
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性) 呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (全身毒性) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (全身毒性)
誤えん有害性	データなし

【12. 環境影響情報】

生態毒性	知見なし
残留性・分解性	知見なし
生体蓄積性	知見なし
土壌中の移動性	知見なし
オゾン層への有害性	知見なし

【13. 廃棄上の注意】

化学品 (残余廃棄物)、当該化学品 が付着している汚染容器及び包装の 安全で、かつ、環境上望ましい廃 棄、又はリサイクルに関する情報	【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。 内容物/容器は法令/規則に従って適切に廃棄すること。
---	--

【14. 輸送上の注意】

国際規制	
海上規制情報	IMOの規定に従う
UN No.	1791
Propper Shipping Name	HYPOCHLORITE SOLUTION
Class	8
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not Applicable
MARPOLによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	ICA0、IATAの規定に従う
UN No.	1791
Propper Shipping Name	HYPOCHLORITE SOLUTION
Class	8
Packing Group	III
積載情報	ICA0、IATAの規定に従う
国内規制	
国連番号	1971
品名 (国連輸送名)	次亜塩素酸塩 (水溶液)
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
陸上規制情報	特段の規制はない

海上規制情報	船舶安全法、港則法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
積載情報	航空法の規定に従う

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	【7. 取扱い及び保管上の注意】の項の記載による他、運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号	154

【15. 適用法令】

労働安全衛生法第57条第1項の政令で定めるもの	該当しない
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（特別管理産業廃棄物）	該当しない
有害物質を含有する家庭用品の規則に関する法律	該当しない
化審法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）
食品衛生法	食品添加物

【16. その他】

記載内容の問い合わせ先

会社名	ミッケル化学株式会社
住所	東京都江東区石島2-14
担当部門	研究開発室
電話番号	072-268-1181
FAX番号	072-268-1183

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
 また、記載事項は通常の実施を前提としたものであるため、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
 なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。